

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

IN RE APPLICATION OF: Katsuya MURAKOSHI

GAU:

SERIAL NO: NEW APPLICATION

EXAMINER:

FILED: HEREWITH

FOR: METHOD AND APPARATUS FOR FACSIMILE DATA OUTPUT SORTING

REQUEST FOR PRIORITY

ASSISTANT COMMISSIONER FOR PATENTS
WASHINGTON, D.C. 20231

SIR:

- ☐ Full benefit of the filing date of U.S. Application Serial Number, filed, is claimed pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §120.
- ☐ Full benefit of the filing date of U.S. Provisional Application Serial Number, filed, is claimed pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §119(e).
- ☒ Applicants claim any right to priority from any earlier filed applications to which they may be entitled pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §119, as noted below.

In the matter of the above-identified application for patent, notice is hereby given that the applicants claim as priority:

<u>COUNTRY</u>	<u>APPLICATION NUMBER</u>	<u>MONTH/DAY/YEAR</u>
JAPAN	11-314846	NOVEMBER 5, 1999

Certified copies of the corresponding Convention Application(s)

- ☒ are submitted herewith
- ☐ will be submitted prior to payment of the Final Fee
- ☐ were filed in prior application Serial No. filed
- ☐ were submitted to the International Bureau in PCT Application Number .
Receipt of the certified copies by the International Bureau in a timely manner under PCT Rule 17.1(a) has been acknowledged as evidenced by the attached PCT/IB/304.
- ☐ (A) Application Serial No.(s) were filed in prior application Serial No. filed ; and
(B) Application Serial No.(s)
 - ☐ are submitted herewith
 - ☐ will be submitted prior to payment of the Final Fee

Respectfully Submitted,

OBLON, SPIVAK, McCLELLAND,
MAIER & NEUSTADT, P.C.



Gregory J. Maier
Registration No. 25,599

Surinder Sachar
Registration No. 34,423



22850



日 本 国 特 許 庁

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

JCE41 U.S. PRO
09/691235
10/19/00

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application:

1999年11月 5日

出 願 番 号
Application Number:

平成11年特許願第314846号

出 願 人
Applicant(s):

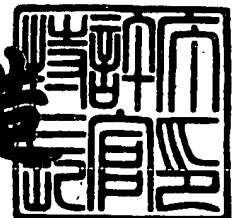
株式会社リコー

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2000年 9月 1日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2000-3070320

【書類名】 特許願

【整理番号】 9903391

【提出日】 平成11年11月 5日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04N 1/32

【発明の名称】 ファクシミリ装置

【請求項の数】 7

【発明者】

【住所又は居所】 東京都大田区中馬込 1 丁目 3 番 6 号
株式会社リコー内

【氏名】 村越 克也

【特許出願人】

【識別番号】 000006747

【氏名又は名称】 株式会社リコー

【代表者】 桜井 正光

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 003724

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 ファクシミリ装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ファクシミリデータごとに所定の色で前記ファクシミリデータを転写紙に印刷する印刷色制御手段を有することを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項 2】 前記印刷色制御手段は、前記ファクシミリデータを受信した回線ごとに所定の色で前記ファクシミリデータを転写紙に印刷するものであることを特徴とする請求項 1 記載のファクシミリ装置。

【請求項 3】 前記印刷色制御手段は、前記ファクシミリデータを送信した送信相手先ごとに所定の色で前記ファクシミリデータを転写紙に印刷するものであることを特徴とする請求項 1 または 2 記載のファクシミリ装置。

【請求項 4】 前記ファクシミリデータごとに前記ファクシミリデータを印刷する転写紙を選択する転写紙選択手段をさらに有することを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載のファクシミリ装置。

【請求項 5】 前記転写紙選択手段は、前記ファクシミリデータを受信した回線ごとに所定の転写紙を選択するものであることを特徴とする請求項 4 記載のファクシミリ装置。

【請求項 6】 前記転写紙選択手段は、前記ファクシミリデータを送信した送信相手先ごとに所定の転写紙を選択するものであることを特徴とする請求項 4 または 5 記載のファクシミリ装置。

【請求項 7】 前記転写紙選択手段は、前記ファクシミリデータごとに転写紙を給紙する給紙段を選択するものであることを特徴とする請求項 4 から 6 のいずれか 1 項に記載のファクシミリ装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明はファクシミリ装置に関し、特にファクシミリデータが印刷された転写紙を仕分けるファクシミリ装置に関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

従来、ファクシミリ装置は、受信したファクシミリデータを転写紙に印刷し、この転写紙を一つの排紙トレイに排出していた。従って、複数の送信先から送信されたファクシミリデータが印刷された転写紙が一つの排紙トレイに積み重ねられることから、ユーザは、送信先ごとにファクシミリデータを仕分けることが困難であるということが指摘されていた。

【0 0 0 3】

送信先ごとにファクシミリデータを仕分けるファクシミリ装置に関する従来技術として、特開平 1 0 - 2 6 4 4 8 4 号がある。

【0 0 0 4】

上記従来技術によれば、このファクシミリ装置は、先に受信したファクシミリデータを印刷する転写紙の色またはサイズと、後に受信したファクシミリデータを印刷する転写紙の色またはサイズとが異なるようにすることで行う。従って、ファクシミリデータが印刷された転写紙の色は、このファクシミリデータの前に受信したファクシミリデータが印刷された転写紙の色が異なるため、前のファクシミリデータが印刷された転写紙との境が明確になる。

【0 0 0 5】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、上記従来技術によれば、複数の種類の転写紙を用意する必要がある。通常、転写紙は、白色のものが用いられる。そのため、ユーザは、通常用いられる白色以外の転写紙を用意しなければならない。また、常時複数の転写紙を用意しなければ、送信先ごとにファクシミリデータを仕分けることができない。さらには、複数の給紙トレイを有していなければ、上記従来技術は達成されない。

【0 0 0 6】

本発明は、上記問題点に鑑みなされたものであり、送信先ごとにファクシミリデータを転写紙に印刷する色を設定し、この設定された色でファクシミリデータを転写紙に印刷することにより、受信したファクシミリデータをユーザが容易に

仕分けることが可能なファクシミリ装置を提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】

かかる目的を達成するために、請求項1記載の発明は、ファクシミリデータごとに所定の色でファクシミリデータを転写紙に印刷する印刷色制御手段を有することを特徴としている。

【0008】

請求項2記載の発明は、請求項1の装置において、印刷色制御手段は、ファクシミリデータを受信した回線ごとに所定の色でファクシミリデータを転写紙に印刷するものであることを特徴としている。

【0009】

請求項3記載の発明は、請求項1または2の装置において、印刷色制御手段は、ファクシミリデータを送信した送信相手先ごとに所定の色でファクシミリデータを転写紙に印刷するものであることを特徴としている。

【0010】

請求項4記載の発明は、請求項1から3のいずれか1項の装置において、ファクシミリデータごとにファクシミリデータを印刷する転写紙を選択する転写紙選択手段をさらに有することを特徴としている。

【0011】

請求項5記載の発明は、請求項4記載の装置において、転写紙選択手段は、ファクシミリデータを受信した回線ごとに所定の転写紙を選択するものであることを特徴としている。

【0012】

請求項6記載の発明は、請求項4または5の装置において、転写紙選択手段は、ファクシミリデータを送信した送信相手先ごとに所定の転写紙を選択するものであることを特徴としている。

【0013】

請求項7記載の発明は、請求項4から6のいずれか1項の装置において、転写紙選択手段は、ファクシミリデータごとに転写紙を給紙する給紙段を選択するも

のであることを特徴としている。

【0014】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態を添付図面を参照しながら詳細に説明する。

【0015】

図1は、本発明の実施の形態におけるファクシミリ装置の内部構成を示す構成図である。図1によれば、本発明のファクシミリ装置は、CPU100、ROM101、RAM102、PM103、DCR104、プロッタ105、G3CCU-1ch106、G3CCU-2ch107、及びG4CCU108で構成されている。

【0016】

CPU100は、ROM101、RAM102、PM103、DCR104、プロッタ105、G3CCU-1ch106、G3CCU-2ch107、及びG4CCU108の動作を制御することにより、ファクシミリ装置全体の動作を制御する。

【0017】

ROM101は、ファクシミリ装置が動作するための制御手順が記憶されている。ROM101は、プロッタ105が画像データを転写紙に印刷する色を選択する印刷色選択処理手順が記憶されている。この印刷色選択処理手順は、プロッタ105が画像データを転写紙に印刷する色に対応した数値を指定する。

【0018】

RAM102は、CPU100が処理を行うに際し、一時的にデータが記憶される。PM103は、受信した画像データが格納される。

【0019】

DCR104は、受信した画像データの復元を行う。プロッタ105は、受信した画像データを転写紙に印刷する。プロッタ105は、ROM101に記憶された印刷色選択処理手順に従い、所定の色により画像データを転写紙に印刷する。

【0020】

G 3 C C U - 1 c h 1 0 6、および G 4 C C U - 2 c h 1 0 7 は、G 3 回線を介して伝送される画像データの授受に関する制御を行う。G 4 C C U 1 0 8 は、G 4 回線を介して伝送される画像データの授受に関する制御を行う。

【 0 0 2 1 】

本発明の実施の形態におけるファクシミリ装置が、画像データを受信した受信回線ごとに画像データを印刷する印刷色を変更する動作を、図 1、および図 2 を用いて説明する。

【 0 0 2 2 】

ファクシミリ装置内の R O M 1 0 1 には、画像データを受信した受信回線ごとに画像データを印刷する印刷色があらかじめ記憶されている。G 3 C C U - 1 c h 1 0 6 により受信された画像データは、プロッタ 1 0 5 において、緑色により転写紙に印刷される。G 3 C C U - 2 c h 1 0 7 により受信された画像データは、プロッタ 1 0 5 において、青色により転写紙に印刷される。G 4 C C U 1 0 8 により受信された画像データは、プロッタ 1 0 5 において、赤色により転写紙に印刷される。

【 0 0 2 3 】

なお、プロッタ画像データが転写紙に印刷される色は、R A M 1 0 2 に記憶するようにし、ユーザは、画像データを受信した受信回線ごとに画像データを印刷する印刷色を指定できるようにしてもよい。この指定は、図示しない操作パネルを通じて行うようにしてもよい。また、ホストコンピュータにより行い、図示しないネットワーク I / F を介して指定するようにしてもよい。

【 0 0 2 4 】

C P U 1 0 0 は、初期状態において、R O M 1 0 1 内に記憶された処理手順に従い、画像データが G 3 C C U - 1 c h 1 0 6、G 3 C C U - 2 c h 1 0 7、または G 4 C C U 1 0 8 により受信されたか判断する（ステップ S 2 0 0）。

【 0 0 2 5 】

ファクシミリ装置が画像データを受信していない場合（ステップ S 2 0 0 / N O）、ファクシミリ装置はステップ S 2 0 0 の初期状態へ戻る。このように、ファクシミリ装置は常時画像データを受信したか否か検知する。

【0026】

ファクシミリ装置が画像データを受信した場合（ステップS200／YES）、CPU100は、画像データがどのCCUにより受信されたものか判断する。この判断は、ROM101に記憶された所定の判断処理手順をCPU100が読み込んだ後に行う。CPU100は、画像データがG3CCU-1ch106により受信されたものであるか判断する（ステップS201）。

【0027】

画像データがG3CCU-1ch106を介しファクシミリ装置に受信された場合（ステップS201／YES）、CPU100は、ROM101に記憶された印刷色選択処理手順を読み込む。本発明の実施の形態によれば、この印刷色選択処理手順は、G3CCU-1ch106により画像データが受信された場合、画像データを印刷する印刷色を緑にするように記憶されている。従って、CPU100は、プロッタ105に対し、印刷色を緑色にするように指示する（ステップS202）。

【0028】

画像データがG3CCU-1ch106を介しファクシミリ装置に受信されたものではなかった場合（ステップS201／NO）、CPU100は、画像データがG3CCU-2ch107により受信されたものであるか判断する（ステップS203）。

【0029】

画像データがG3CCU-2ch107を介しファクシミリ装置に受信された場合（ステップS203／YES）、CPU100は、ROM101に記憶された印刷色選択処理手順を読み込む。本発明の実施の形態によれば、この印刷色選択処理手順は、G3CCU-2ch107により画像データが受信された場合、画像データを印刷する印刷色を青にするように記憶されている。従って、CPU100は、プロッタ105に対し、印刷色を青色にするように指示する（ステップS204）。

【0030】

画像データがG3CCU-2ch107を介しファクシミリ装置に受信された

ものではなかった場合（ステップ S 2 0 3 / NO）、CPU 1 0 0 は、画像データが G 4 C C U 1 0 8 により受信されたものであるか判断する（ステップ 2 0 4）。

【 0 0 3 1 】

画像データが G 4 C C U 1 0 8 により受信されたものであった場合（ステップ 2 0 4 / YES）、CPU 1 0 0 は、ROM 1 0 1 に記憶された印刷色選択処理手順を読み込む。本発明の実施の形態によれば、この印刷色選択処理手順は、画像データが G 4 C C U 1 0 8 により受信されたものであった場合、この画像データを赤色で印刷するように記憶されている。従って、CPU 1 0 0 は、プロッタ 1 0 5 に対し、印刷色を赤色にするように指示する（ステップ 2 0 5）。

【 0 0 3 2 】

画像データが G 4 C C U 1 0 8 により受信されたものではなかった場合（ステップ 2 0 4 / NO）、CPU 1 0 0 は、ROM 1 0 1 に記憶された印刷色選択処理手段を読み込む。本発明の実施の形態によれば、この印刷色選択処理手順は、画像データが、G 3 C C U - 1 c h 1 0 6、G 3 C C U - 2 c h 1 0 7、および G 4 C C U 1 0 8 のいずれの C C U により受信されたものではなかった場合、この画像データを黒色で印刷するように記憶されている。従って、CPU 1 0 0 は、プロッタ 1 0 5 に対し、印刷色を黒色にするように指示する。

【 0 0 3 3 】

プロッタ 1 0 5 は、上記指示された画像データを印刷する印刷色をエンジン側に指示する（ステップ S 2 0 7）。

【 0 0 3 4 】

ファクシミリ装置は、給紙トレイから所定の種類の転写紙を給紙し（ステップ S 2 0 8）、この転写紙に、上記プロッタ 1 0 5 に指定された色で画像データの 1 ページ目を印刷する（ステップ S 2 0 9）。画像データが印刷された転写紙は、ファクシミリ装置から排紙される（ステップ S 2 1 0）。

【 0 0 3 5 】

上記画像データは、C C U により受信され、PM 1 0 3 に保存されている。この画像データの中から 1 ページ目がプロッタ 1 0 5 へ送信される。

【 0 0 3 6 】

画像データの 1 ページ目の印刷が終了した後、CPU 1 0 0 は、処理を行う画像データのページをインクリメントする（ステップ S 2 1 1）。

【 0 0 3 7 】

CPU 1 0 0 は、画像データに印刷していないページがあるか判断する（ステップ S 2 1 2）。画像データに印刷が終わっていないページがある場合（ステップ S 2 1 2 / NO）、ファクシミリ装置は、ステップ S 2 0 8 へ戻り、残りのページの印刷を行う。

【 0 0 3 8 】

画像データに印刷が終わっていないページがなく、全ての画像データの印刷が終了した場合（ステップ S 2 1 2 / YES）、ファクシミリ装置は、ステップ S 2 0 0 へ戻り、初期状態になる。

【 0 0 3 9 】

上記実施の形態によれば、画像データは、受信された CCU ごとに、異なる印刷色で転写紙に印刷される。そのため、ユーザは、画像データを受信された CCU ごとに容易に仕分けることが可能になる。

【 0 0 4 0 】

本発明の実施の形態における、受信した TTI をもとに画像データを転写紙に印刷する印刷色を制御する動作を、図 3、および図 4 を参照しながら説明する。

【 0 0 4 1 】

図 3 は、本発明の実施の形態における、ファクシミリ装置が受信した TTI ごとに、画像データを転写紙に印刷する印刷色を設定する際の、TTI と印刷色の対応関係例を示す。図 3 に示すように、受信した画像データに付属した TTI が「ABC」であった場合、この画像データを印刷する印刷色は赤色と登録されている。また、受信した画像データに付属した TTI が「DEF」であった場合、この画像データを印刷する印刷色は青色と登録されている。この対応関係を示すテーブルは、図示しない NVRAM 等不揮発性メモリに保存される。

【 0 0 4 2 】

なお、上記対応関係を示すテーブルは、図示しない操作パネルにより登録する

ようにしてもよい。また、ホストコンピュータ上で指定し、図示しないネットワーク I / F を介して登録するようにしてもよい。

【0043】

ファクシミリ装置は、受信した画像データに付随した T T I を読み取る（ステップ S 4 0 0）。CPU 1 0 0 は、この T T I と、上記不揮発性メモリに保存されたテーブルを比較する。CPU 1 0 0 は、この T T I が「A B C」であるか判断する（ステップ S 4 0 1）。

【0044】

T T I が「A B C」であった場合（ステップ S 4 0 1 / Y E S）、上記不揮発性メモリに保存されたテーブルには、赤色で画像データを転写紙に印刷するように登録されている。従って、CPU 1 0 0 は、プロッタ 1 0 5 に赤色で画像データを印刷するように指示する（ステップ S 4 0 5）。

【0045】

T T I が「A B C」でなかった場合（ステップ S 4 0 1 / N O）、CPU 1 0 0 は、この T T I が「D E F」であるか判断する（ステップ S 4 0 2）。

【0046】

T T I が「D E F」であった場合（ステップ S 4 0 2 / Y E S）、上記不揮発性メモリに保存されたテーブルには、青色で画像データを転写紙に印刷するように登録されている。従って、CPU 1 0 0 は、プロッタ 1 0 5 に青色で画像データを印刷するように指示する（ステップ S 4 0 4）。

【0047】

T T I が「D E F」でなかった場合（ステップ S 4 0 2 / N O）、CPU 1 0 0 は、プロッタ 1 0 5 に黒色で画像データを印刷するように指示する（ステップ S 4 0 3）。

【0048】

プロッタ 1 0 5 は、上記指示された画像データを転写紙に印刷色を、エンジン側に指示する（ステップ S 4 0 6）。

【0049】

ファクシミリ装置は、上記テーブルに登録された印刷色で画像データを転写紙

に印刷した後、この処理を終了する。

【0050】

上記実施の形態によれば、印刷色を指定して印刷を行うことにより、受信した文章を相手先ごとに容易に仕分けることが可能となる。

【0051】

なお、上記TTIは、Called Station Identification (CSI; 国際識別番号) であってもよい。上記TTIは、Remote Terminal Identifier (RTI) 情報であってもよい。

【0052】

本発明の実施の形態におけるファクシミリ装置が、受信したTTIにより画像データを印刷する印刷色、および転写紙を選択する動作を図1、図5および図6を参照しながら説明する。

【0053】

図5は、画像データに対応したTTI情報と、この画像データを印刷する印刷色、および転写紙を排出する給紙段を示す例である。図5に示すように、TTIが「ABC」であった場合、画像データは、第1トレイにある転写紙に、赤色で印刷されるよう登録されている。TTIが「DEF」であった場合、画像データは、第2トレイにある転写紙に、赤色で印刷されるように登録されている。TTIが「GHI」であった場合、画像データは、第1トレイにある転写紙に、青色で印刷されるように登録されている。TTIが「JKL」であった場合、画像データは、第2トレイにある転写紙に、青色で印刷されるように登録されている。

【0054】

このTTIと、この画像データが印刷される転写紙を有する給紙段と、印刷色に関する情報は、図示しないNVRAM等不揮発性メモリに保存されている。この情報は、図示しない操作パネルにより追加、変更、および削除される。

【0055】

ファクシミリ装置は、受信した画像データからTTIを読み取る（ステップS600）。CPU100は、このTTIが「ABC」であるか判断する（ステップS601）。

【0056】

TTIが「ABC」である場合（ステップS601／YES）、上記不揮発性メモリには、画像データを赤色で印刷するように登録されている。そのため、CPU100は、プロッタ105に画像データを赤色で印刷するように指示する（ステップS607）。

【0057】

TTIが「ABC」でなかった場合（ステップS601／NO）、CPU100は、TTIが「DEF」であるか判断する（ステップS602）。

【0058】

TTIが「DEF」である場合（ステップS602／YES）、上記不揮発性メモリには、画像データを赤色で印刷するように登録されている。そのため、CPU100は、プロッタ105に画像データを赤色で印刷するように指示する（ステップS607）。

【0059】

TTIが「DEF」でなかった場合（ステップS602／NO）、CPU100は、TTIが「GHI」であるか判断する（ステップS603）。

【0060】

TTIが「GHI」であった場合（ステップS603／YES）、上記不揮発性メモリには、画像データを青色で印刷するように登録されている。そのため、CPU100は、プロッタ105に画像データを青色で印刷するように指示する（ステップS606）。

【0061】

TTIが「GHI」でなかった場合（ステップS603／NO）、CPU100は、TTIが「JKL」であるか判断する（ステップS604）。

【0062】

TTIが「JKL」であった場合（ステップS604／YES）、上記不揮発性メモリには、画像データを転写紙に青色で印刷するように登録されている。そのため、CPU100は、プロッタ105に画像データを青色で印刷するように指示する（ステップS606）。

【0063】

TTIが「JKL」でなかった場合（ステップS604／NO）、CPU100は、プロッタ105に画像データを黒色で印刷するように指示する（ステップS605）。

【0064】

プロッタ105は、CPU100に指示された画像データを転写紙に印刷する色を、エンジン側へ指示する（ステップS608）。

【0065】

次に、CPU100は、TTI情報を上記不揮発性メモリに保存されたテーブルと比較し、画像データを印刷する転写紙を有する給紙段を判断する。CPU100は、TTIが「ABC」であるか判断する（ステップS609）。

【0066】

TTIが「ABC」であった場合（ステップS609／YES）、上記不揮発性メモリには、画像データを第1トレイ内の転写紙に印刷するように登録されている。従って、CPU100は、第1トレイ内の転写紙を給紙するようにプロッタ105へ指示する（ステップS615）。

【0067】

TTIが「ABC」でなかった場合（ステップS609／NO）、CPU100は、TTIが「DEF」であるか判断する（ステップS610）。

【0068】

TTIが「DEF」であった場合（ステップS610／YES）、上記不揮発性メモリには、画像データを第2トレイ内の転写紙に印刷するように登録されている。従って、CPU100は、第2トレイ内の転写紙を給紙するようにプロッタ105へ指示する（ステップS614）。

【0069】

TTIが「DEF」でなかった場合（ステップS610／NO）、CPU100は、TTIが「GHI」であるか判断する（ステップS611）。

【0070】

TTIが「GHI」であった場合（ステップS611／YES）、上記不揮発

性メモリには、画像データを第1トレイ内の転写紙に印刷するように登録されている。従って、CPU100は、第1トレイ内の転写紙を給紙するようにプロッタ105へ指示する（ステップS615）。

【0071】

TTIが「GHI」でなかった場合（ステップS611/NO）、CPU100は、TTIが「JKL」であるか判断する（ステップS612）。

【0072】

TTIが「JKL」であった場合（ステップS612/YES）、上記不揮発性メモリには、画像データを第2トレイ内の転写紙に印刷するように登録されている。従って、CPU100は、第2トレイ内の転写紙を給紙するようにプロッタ105へ指示する（ステップS614）。

【0073】

TTIが「JKL」でなかった場合（ステップS612/NO）、CPU100は、第1トレイ内の転写紙を給紙するようにプロッタ105へ指示する（ステップS613）。

【0074】

プロッタ105は、CPUに指示された転写紙を給紙する給紙段を、エンジン側に指示する（ステップS616）。

【0075】

画像データは、上記テーブルに登録された転写紙に、登録された印刷色で印刷される。ファクシミリ装置は、画像データの印刷終了後、この処理を終了する。

【0076】

上記実施の形態によれば、画像データごとに印刷される転写紙の種類、および印刷される印刷色が異なることから、受信した文章を相手先ごとに容易に仕分けることが可能となる。

【0077】

なお、上記TTIは、Called Station Identification（CSI；国際識別番号）であってもよい。上記TTIは、Remote Terminal Identifier（RTI）情報であってもよい。

【0078】

【発明の効果】

以上の説明から明らかなように、請求項1記載の発明によれば、ファクシミリデータごとに所定の色でファクシミリデータを転写紙に印刷することにより、ユーザは、受信したファクシミリデータを容易に仕分けることが可能になる。

【0079】

請求項2記載の発明によれば、請求項1の装置において、所定の色は、ファクシミリデータを受信した回線ごとに定められた色であることにより、ユーザは、受信したファクシミリデータを受信回線ごとに容易に仕分けることが可能になる。

【0080】

請求項3記載の発明によれば、請求項1または2の装置において、所定の色は、ファクシミリデータを送信した送信相手先ごとに定められた色であることにより、ユーザは、受信したファクシミリデータを送信相手先ごとに容易に仕分けることが可能になる。

【0081】

請求項4記載の発明によれば、請求項1から3のいずれか1項に記載の装置において、ファクシミリデータごとに所定の転写紙にファクシミリデータを印刷することにより、ユーザは、より容易に受信したファクシミリデータを仕分けることが可能になる。

【0082】

請求項5記載の発明は、請求項4の装置において、転写紙選択手段は、ファクシミリデータを受信した回線ごとに所定の転写紙を選択するものであることにより、ユーザは、より容易に受信したファクシミリデータを仕分けることが可能になる。

【0083】

請求項6記載の発明は、請求項4または5の装置において、転写紙選択手段は、ファクシミリデータを送信した送信相手先ごとに所定の転写紙を選択するものであることにより、ユーザは、より容易に受信したファクシミリデータを仕分け

ることが可能になる。

【0084】

請求項7記載の発明は、請求項4から6のいずれか1項の装置において、転写紙選択手段は、ファクシミリデータごとに転写紙を給紙する給紙段を選択するものであることにより、ユーザは、より容易に受信したファクシミリデータを仕分けることが可能になる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の実施の形態におけるファクシミリ装置の内部構成を示す構成図である。

【図2】

本発明の実施の形態における画像データを受信した受信回線ごとに印刷色を変更する動作を説明するためのフローチャートである。

【図3】

本発明の実施の形態における受信した画像データのTTIと、画像データを印刷する印刷色の対応関係を示す。

【図4】

本発明の実施の形態における受信した画像データのTTIにより印刷色を変更する動作を説明するためのフローチャートである。

【図5】

本発明の実施の形態における受信した画像データのTTIと、画像データを印刷する印刷色、及び給紙段の対応関係を示す。

【図6】

本発明の実施の形態における受信した画像データのTTIごとに印刷色、及び転写紙の給紙段を変更する動作を説明するためのフローチャートである。

【符号の説明】

100 CPU

101 ROM

102 RAM

1 0 3 P M

1 0 4 D C R

1 0 5 プロッタ

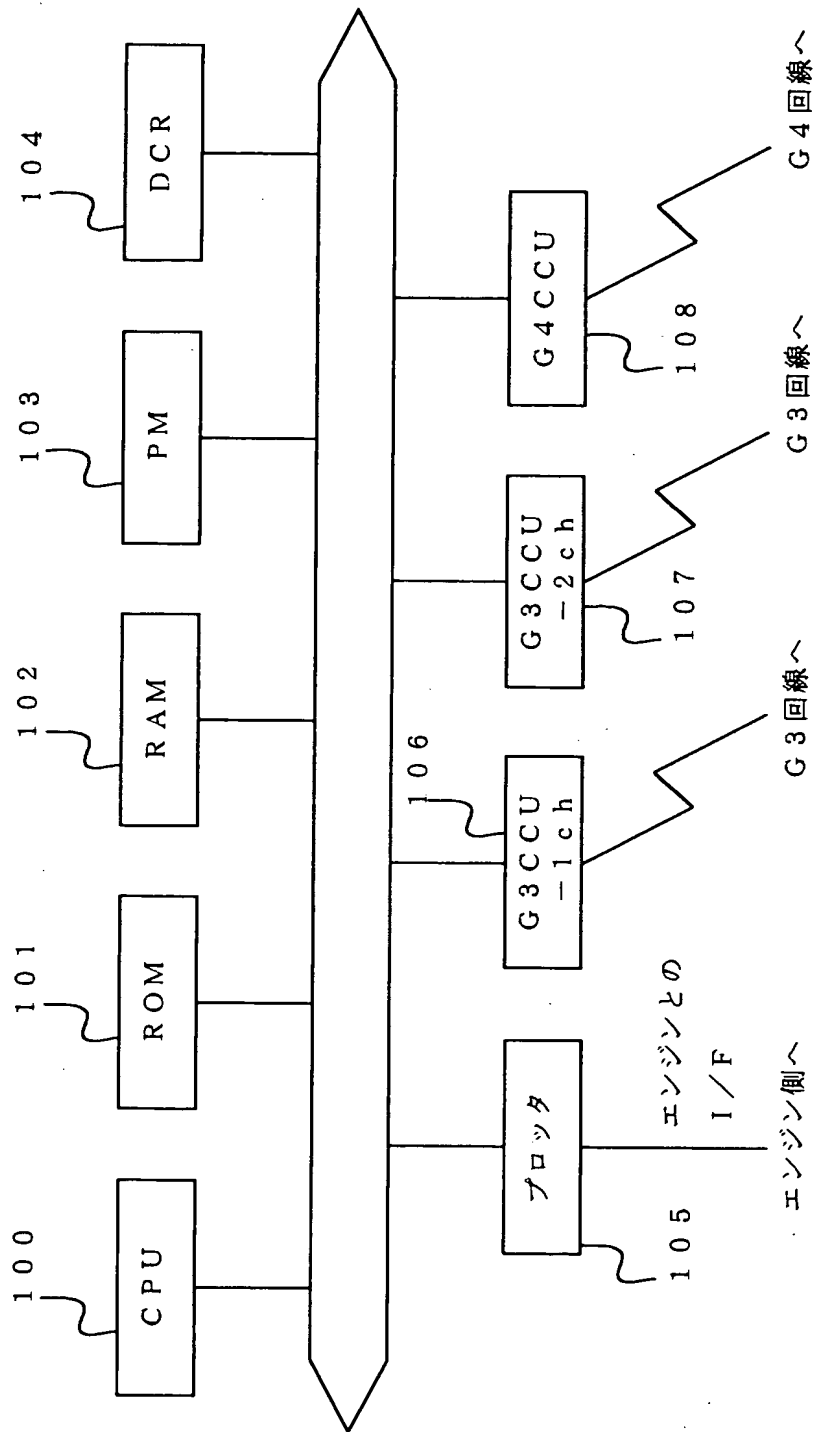
1 0 6 G 3 C C U - 1 c h

1 0 7 G 3 C C U - 2 c h

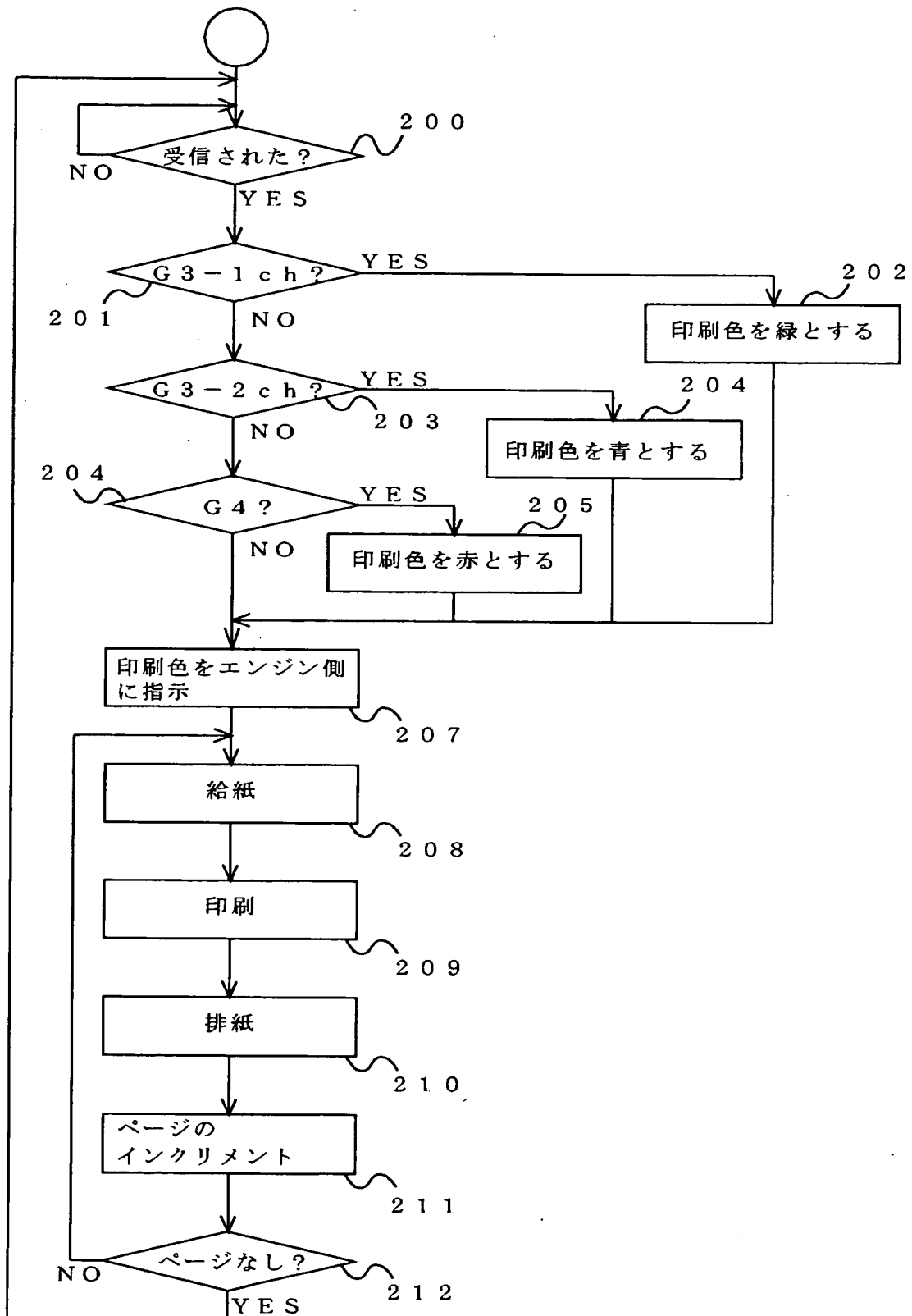
1 0 8 G 4 C C U

【書類名】 図面

【図 1】



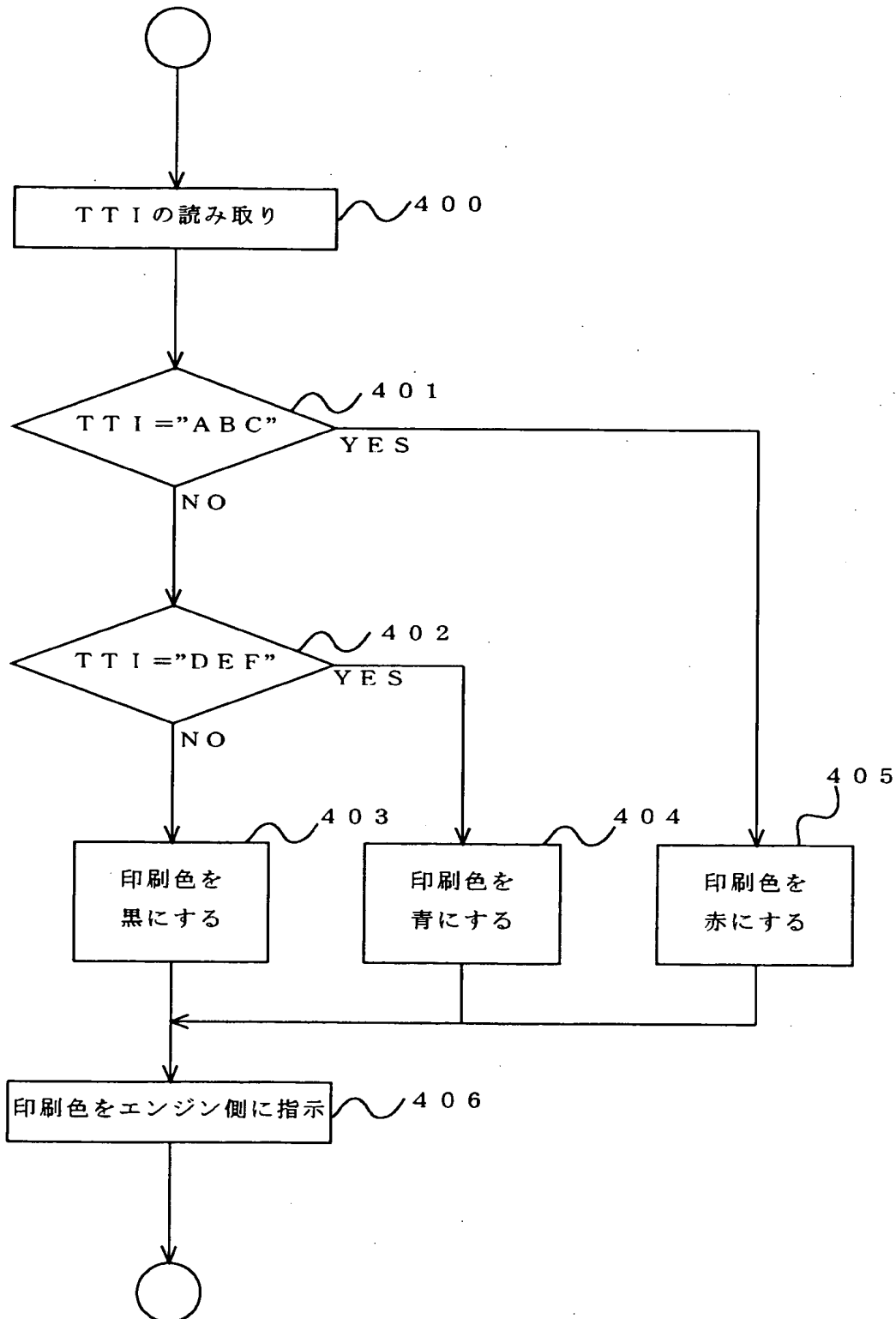
【図 2】



【図 3】

T T I	印刷色
A B C	赤
D E F	青
.	.
.	.
.	.

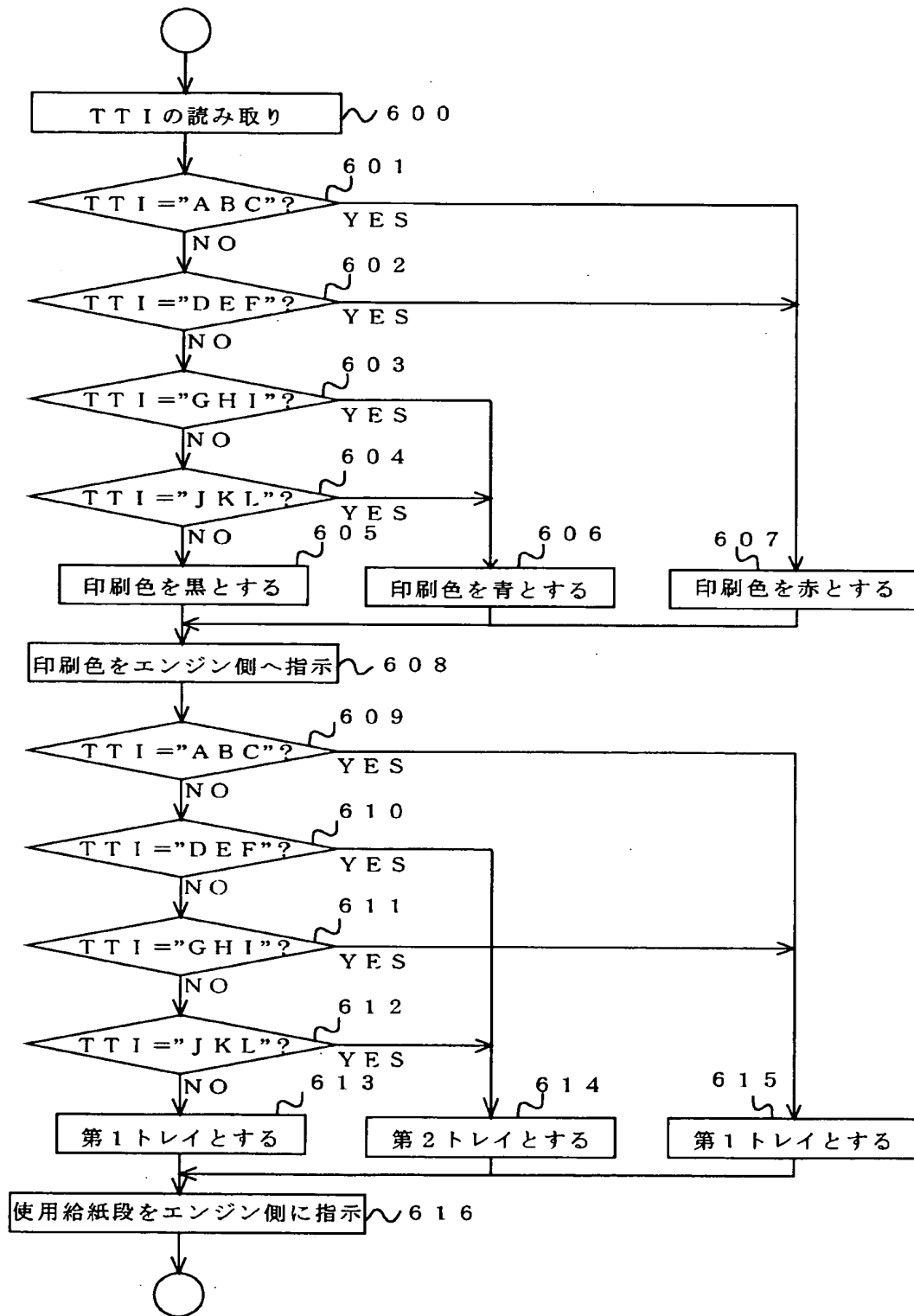
【図 4】



【図 5】

TTI	印刷色	給紙段
ABC	赤	第 1 トレイ
DEF	赤	第 2 トレイ
GHI	青	第 1 トレイ
JKL	青	第 2 トレイ
.	.	.
.	.	.
.	.	.
.	.	.
.	.	.
.	.	.

【図 6】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 送信先ごとにファクシミリデータを転写紙に所定の色で印刷するファクシミリ装置を提供する。

【解決手段】 ファクシミリ装置は、ファクシミリデータがG3CCU-1ch106により受信されたものであるか、G3CCU-2ch107により受信されたものであるか、またはG4CCU108により受信されたものであるか判断する。ROM101内に記憶された印刷色選択処理手順は、ファクシミリデータが受信されたCCUにより、このファクシミリデータを印刷する印刷色が設定されている。また、印刷色選択処理手順は、ファクシミリデータに付随するTTI情報をごとに、このファクシミリデータを印刷する印刷色が設定されている。CPU100は、この印刷色選択処理手順に基づき、プロッタ105にファクシミリデータを印刷する印刷色を指示することにより行う。

【選択図】 図1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000006747]

1. 変更年月日 1990年 8月24日
[変更理由] 新規登録
住 所 東京都大田区中馬込1丁目3番6号
氏 名 株式会社リコー